

2016年 古鷹山ビオトープ

第2回 『ビオトープ観察会』



古鷹山ビオトープで収穫したあけび：中の実を食べ、皮は天ぷらに！

2016年9月24日(土)
(10:00~12:00)

 日本ビオトープ協会
甲四国地区委員会

◆ 日時：2016年9月24日（土）

◆ 内容 ①自然観察・昆虫採取・採取した昆虫の観察

②あけびの実採取、身を食べ皮をを天ぷらにして食べました！

◆ 指導者：神垣健司（環境カウンセラー）

梶岡幹生（NPO法人 日本ビオトープ協会 主席ビオトープアドバイザー）

越智一郎（NPO法人 日本ビオトープ協会 指導補助員）

高村有希（ // ）

◆ 参加者：21名

1

開会・あいさつ



《 司会 》

日本ビオトープ協会
主席B.A 梶岡さん



《 あいさつ 》

切串小学校
宮川校長先生



比治山幼稚園の
羽地園長先生

2

神垣先生の自然観察についての話





収穫したあけびの実



ビオトープの樹や草を観察



イヌビワはイチジクの
仲間で花が咲きま
せん。

3

採集してきたものを説明



ナミアゲハのストロー



トンボの♂♀の区分け

4

採集してきたものを説明



あけびの実



ゲンゴロウ



メダカ



ドジョウ



ヒル



ケラ

《 採取したもの 》



- 半分は 池の水を入れる。
- 残り半分、水道水の場合は 半日以上置き、交ぜる。

• ドジョウ

- メダカ ⇒ 飼うときは水に注意！
- ナミアゲハ。
- トンボ ⇒ ギンヤンマが増える。
- ゲンゴロウ・ヒル・
- ベニイトトンボ ⇒ 広島県では大変貴重。
- ショウジョウトンボ ⇒ 赤いのがオス・黄色っぽいのがメス。
- ギンヤンマのヤゴ ⇒ 年3回成虫に。秋にはたくさん飛ぶ！
- マツモムシ ⇒ 池などを作ると飛んでくる、背中に卵を背負う。
- ケラ ⇒ 水の中、土の中、空中を、草の中どこでも動く
- ヌマエビ（ミナミヌマエビ）

5

あけびの実を食べ、 皮は天ぷらにして食べる

あけびの皮を湯がいて灰汁してを天ぷらにする



あけびの実は甘い、美味しいが種が多い。

鳥の気持ちになって食べてあちこちに

種をまこうかな！



あけびの天ぷらほかとおむすびを食べている参加者



参加者全員(21名)で集合写真



2016年度2回の観察会を終えて

昨年度までは、水生生物・昆虫類に重点を置いて取り組みました。今年度からはそれに加えて野生の植物に目を向けてきました。食べられる植物がこの古鷹山にはどんなものがあるか？安全に食べられる植物を第1回は取り組みました。ヨモギ、ヒメジオン、ワラビなどを食しました。早春だともっといろいろな植物が食べられたと感じました。次年度は時期の選定も要検討です。2回目はこの時期に実があり、食べられるあけびを対象に取り組みました。参加者、自ら進んでお手伝いをして頂いた事に感謝します。このビオトープ観察会は「生き物の不思議」「なぜ？どうして」「生き物から学ぶ」「生物多様性」、などをキーワードにさらに楽しく喜んでもらえる観察会にしていくことを目指します。感謝合掌